

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	①事業概要	実施期間	総事業費 (A) 単位:千円	うち交付金 充当額 単位:千円	事業の効果
		②実施内容				
1	緊急事業継続給付金給付事業	①新型コロナウイルス感染症感染拡大による外出自粛・緊急事態宣言の影響を受けている、宿泊業・飲食サービス業・タクシー業・運転代行業・貸切バス業・旅行業等の事業者の方々に対し、事業継続に必要な固定費及び衛生環境対策費の一部を給付 ②宿泊業者:収容人員に応じて10~30万円、飲食サービス業者:10万円、タクシー・貸切バス業者等:保有車両台数に応じて10~20万円、旅行業者等:10万円	R2.5~R2.7	73,800	68,000	固定費の負担軽減に加え、コロナ対策のための衛生環境対策にかかる経費を補助したことにより、事業継続を支援することができた。また、他の事業との相乗効果により、令和2年の本市内企業倒産件数は前年比減少となった。  交付件数647者、交付額73,800,000円 ・宿泊業 収容人数50人以上 25者×@300千円=7,500,000円 収容人数50人未満 30者×@200千円=6,000,000円 収容人数20人未満 15者×@100千円=1,500,000円 ・飲食サービス業 550者×@100千円=55,000,000円 ・タクシー業及び運転代行業 保有台数10台以上 6者×@200千円=1,200,000円 保有台数10台未満 12者×@100千円=1,200,000円 ・貸切バス業 保有台数5台以上 5者×@200千円=1,000,000円 保有台数5台未満 0者×@100千円=0 ・旅行業・旅行業者代理業 4者×@100千円=400,000円
2	中小企業緊急災害等対策利子補給補助金	①新型コロナウイルス感染症の影響により経営に支障をきたしている市内の中小企業者が、「山形県商工業振興資金(地域経済変動対策資金(コロナ対応))」で融資を受けた場合に、取扱金融機関及び県と協調して利子補給を実施 ②R2.3.16~R2.9.30の貸付分:利率1.6%を金融機関が0.6%引き下げ、残り1%を県と市が0.5%ずつ補助	R2.4~R3.2	100,546	50,000	金融機関及び県と協調して利子を補給し、実質無利子とすることにより、市内中小企業者の負担の軽減及び資金繰りの支援が図られ、令和2年の本市内企業倒産件数は前年比減少となった。新型コロナウイルス感染症の影響による資金繰りの相談が事業者から現在も続いている状況を踏まえ、今後も経営状況を注視していく。 (対象融資件数 689件 補給総額100,546,000円 うち県補助1/2)
3	米商連共通買物券事業費補助金	①市内中小企業、小規模事業者の消費喚起による商店街全体の活性化と個人消費喚起による地域内経済循環の促進を図るため、(協)米沢市商店街連盟が実施するプレミアム付き商品券「愛の商品券」の発行を補助 ②発行総額4億2,900万円 プレミアム率30%	R2.5~R3.3	114,477	114,000	販売総額・取扱店舗数ともに過去最大となり、地域への景気刺激策として貢献し、消費者の購買意欲の向上に寄与した。商品券の利用は、お盆商戦から歳末商戦を含め12月末の利用期限まで、夏、冬のお多福市(米商連独自事業)との相乗効果もあり、様々な取扱店で利用された。購入者アンケートの結果、約4割の消費者が「利用したことのない地元商店で買い物する契機となった」と回答しており、市内事業所の周知・誘客も図られた。 また、事業者への聞き取り調査では、商品券の利用により購入単価が増額傾向にあったとの意見が複数あり、消費喚起が図られた。 利用期間:R2.8.1~R2.12.31 販売内容:1冊13,000円分の商品券を10,000円で販売(13枚綴り) 販売額:429,000,000円(完売) 利用額:428,067,000円(99.78%) 購入世帯数:7,928世帯
4	消費喚起促進事業	①地域の個人消費喚起や活性化に資するイベント等の取組について、経費の一部を補助 ②対象者:同業種で組織された団体・商店街、市内での個人消費喚起を目的とした団体、複数の市内事業者で組織された団体 補助額:2~9者で組織する団体:上限500千円、10者以上の中小企業者で組織する団体:上限1,000千円	R2.5~R3.3	24,833	24,000	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底しながら、市内の消費喚起及び商店街等の活性化が図られた。 実績:「コロナウイルスに打ち勝とう!安心・安全ビアガーデン」、「たつまち秋のいも煮スタンプラリー」、「米沢アッサンブラーージュ」等 (交付団体数 32団体)
5	雇用調整助成金申請代行補助金	① 雇用調整助成金の申請に当たり社会保険労務士等を活用する市内中小・小規模事業者に対し、手数料の一部を補助 ② @200千円×100件(県、市各1/2、上限200千円)	R2.8~R3.3	11,387	5,000	市内中小企業及び小規模事業者の円滑な制度利用及び事業継続に大きく寄与した。 (交付実績等) 受付期間:R2.8.17~R2.2.12 (※R2.9.11一次締切、R2.11.30受付再開) 交付事業者数:延べ99社  当該事業は、急速な感染拡大により事業継続が危ぶまれた事業者への即時的な支援として効果的であったと考えられる。
6	オンライン化促進支援事業費補助金	① オンライン商談会や在宅勤務等を可能とするテレワーク環境の整備により職場環境の改善に取り組みする市内中小・小規模事業者に対し、事業費の一部を補助 ② @1,000千円×80件(県、市、事業者各1/3、上限1,000千円)	R2.8~R3.3	79,381	39,000	当該事業は、市内中小企業及び小規模事業者の設備投資等に係る負担を軽減し、新型コロナウイルス感染拡大防止及び緊急時の事業継続対策に資するものであり、さらに硬直化が見られた市内経済の活性化にも大きく寄与した。 (交付実績等) 受付期間:R2.8.17~R3.2.12(※R2.9.10一次締切、R2.11.30再開、R3.1.4終了) 交付事業者数:181社 当該事業は、コロナ禍により急速に進むビジネス環境の変化に対応し、企業が経済活動を維持・活性化させていくための支援として効果的であったと考え、多くの事業者が補助対象経費として検温器、アクリル板、消毒液等の経費を計上し、本補助金を活用して感染防止対策を積極的に実施した。また、感染防止対策として同時に、感染防止啓発事業「米沢びしゃもんプロジェクト」への賛同も条件にすることで積極的に感染防止対策を行う事業者が飛躍的に増え、市民が安心して飲食や買い物を楽しむことができる環境整備に寄与した。
7	新・生活様式対応支援事業	①県と協調して、「新・生活様式」に対応するための設備導入経費の一部を補助 ②飲食サービス業、宿泊業、道路旅客運送業、運転代行業、旅行業、小売・卸売業、理容・美容業、療術業 ・市内法人事業所:補助上限200千円 ・市内個人事業所:補助上限100千円 ・事務費	R2.8~R3.1	99,931	49,000	・補助金 98,934,000円(うち県補助1/2) 法人(補助額2万~20万円まで) 346者 個人(補助額2万~10万円まで) 452者 ・人件費 996,707円(うち県補助798,000円)
8	山形県信用保証協会保証料補給金	① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内中小企業者が利用した融資の信用保証料のうち、セーフティネット(4号・5号・危機関連・商工業2項)該当分について、信用保証協会及び県と協調して保証料補給を実施 ②保証料率0.85~1.0%を保証協会が0.17~0.2%引き下げ、残りを県が0.39~0.46%、市が0.29~0.34%ずつ補助	R2.4~R3.3	41,386	41,000	信用保証料を補助し、事業者の軽減することで、資金繰り対策を支援し、経営の安定化を図ることができた。また、当該事業に加え利子補給など複数の事業者支援施策を実施した結果、令和2年の本市内企業倒産件数は前年比減少となった。 (R2年度上期補給額 17,225,000円) (R2年度下期補給額 24,161,000円)
9	新型コロナウイルス関連利子補給等基金造成事業	① 新型コロナウイルス感染症の影響により融資制度を利用した市内中小企業者の方々に対して、利子補給を継続的に行うための基金を造成 ②・利子補給金(中小企業緊急災害等対策利子補給補助金分):374,812千円 ・利子補給金(緊急特例経営安定資金利子補給補助金分):19,522千円 ・信用保証料補給金(セーフティネット等分):265,666千円	R3.3~R7.3	660,000	660,000	「山形県商工業振興資金(地域経済変動対策資金(コロナ対応))」のうち、R2.3.16~R2.9.30の期間中に実行された融資の利子及び信用保証料について、令和3年度~令和7年度にかけて本市が補給する予定額の一部を積み立て、安定的に支援していく。
合計				1,205,741	1,050,000	